

2026年5月15日

2025年度 決算説明会資料

2026年5月15日

株式会社 **きんでん**

東証プライム : 1944

Kinden

目次

1. 決算の概要と通期見通し

(1) 決算の概要	…	3
(2) 通期見通し	…	4
(3) 自己株式の公開買付け(TOB)	…	6

2. 決算業績の状況

(1) 予想との比較	【個別】	…	8
(2) 前期比較	【個別】	…	9
(3) 工事種別の状況(受注)	【個別】	…	10
(4) 工事種別の状況(完成)	【個別】	…	11
(5) 完成工事高 受注時期別 (配電工事を除く)	【個別】	…	12
(6) 工事種別手持工事高の状況	【個別】	…	13
(7) 販売費及び一般管理費の状況	【個別】	…	14
(8) 予想との比較	【連結】	…	15

(9) 前期比較	【連結】	…	16
----------	------	---	----

(10) 完成工事高の増減	【連結】	…	17
---------------	------	---	----

(11) 海外(地域別) 受注・完成工事高の状況 【きんでん+海外子会社】	…	18
--	---	----

(12) 営業利益の増減内訳	【連結】	…	19
----------------	------	---	----

(13) 貸借対照表の状況	【連結】	…	20
---------------	------	---	----

(14) キャッシュ・フローの状況	【連結】	…	21
-------------------	------	---	----

3. 2026業績予想

(1) 2026予想	【個別】	…	23
------------	------	---	----

(2) 2026予想	【連結】	…	24
------------	------	---	----

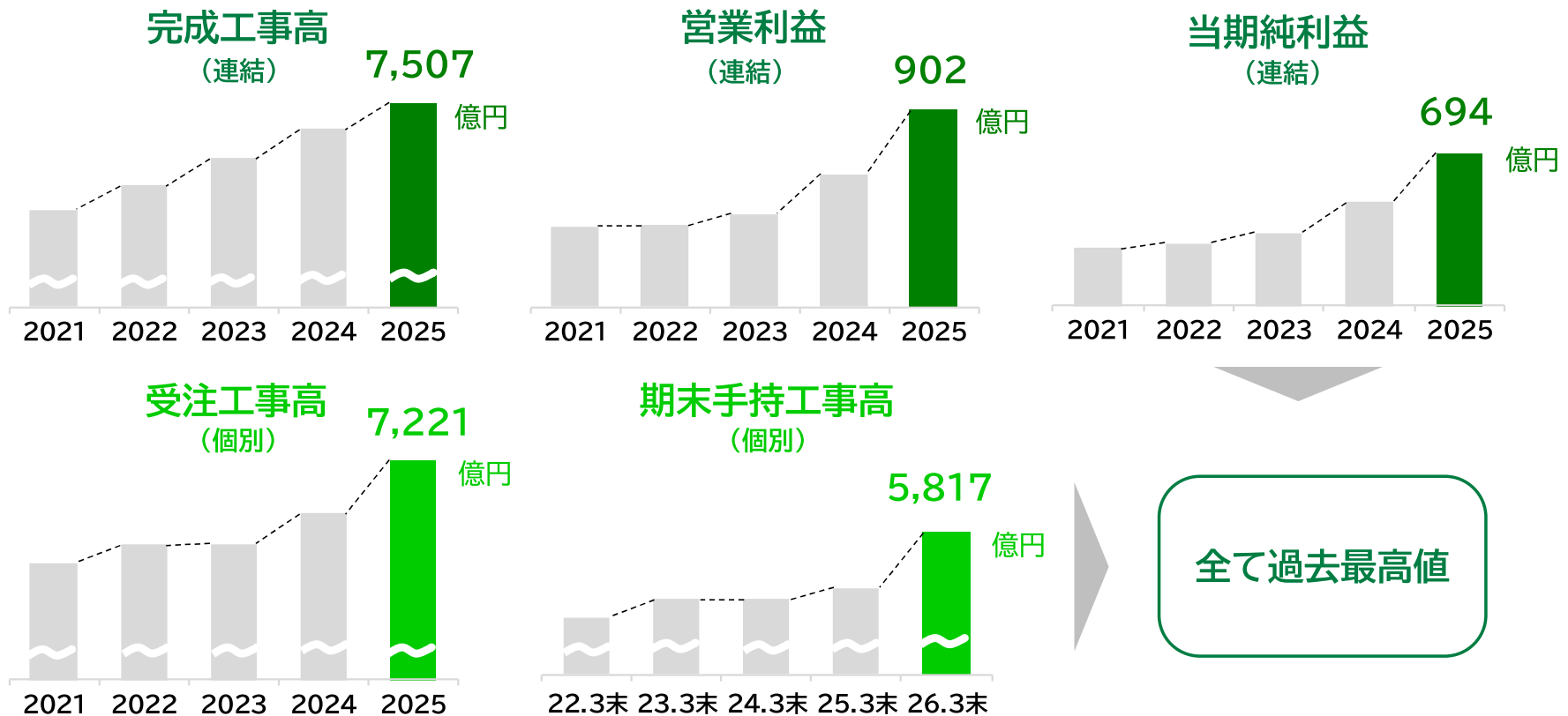
4. 株主還元

(1) 配当金の状況	…	26
------------	---	----

(2) 自己株式の取得について	…	27
-----------------	---	----

1. 決算の概要と通期見通し

(1) 決算の概要



◆ 完成工事高の増加

堅調な受注に加え、工事進捗が当初計画どおり順調に進み、完成工事高が増加

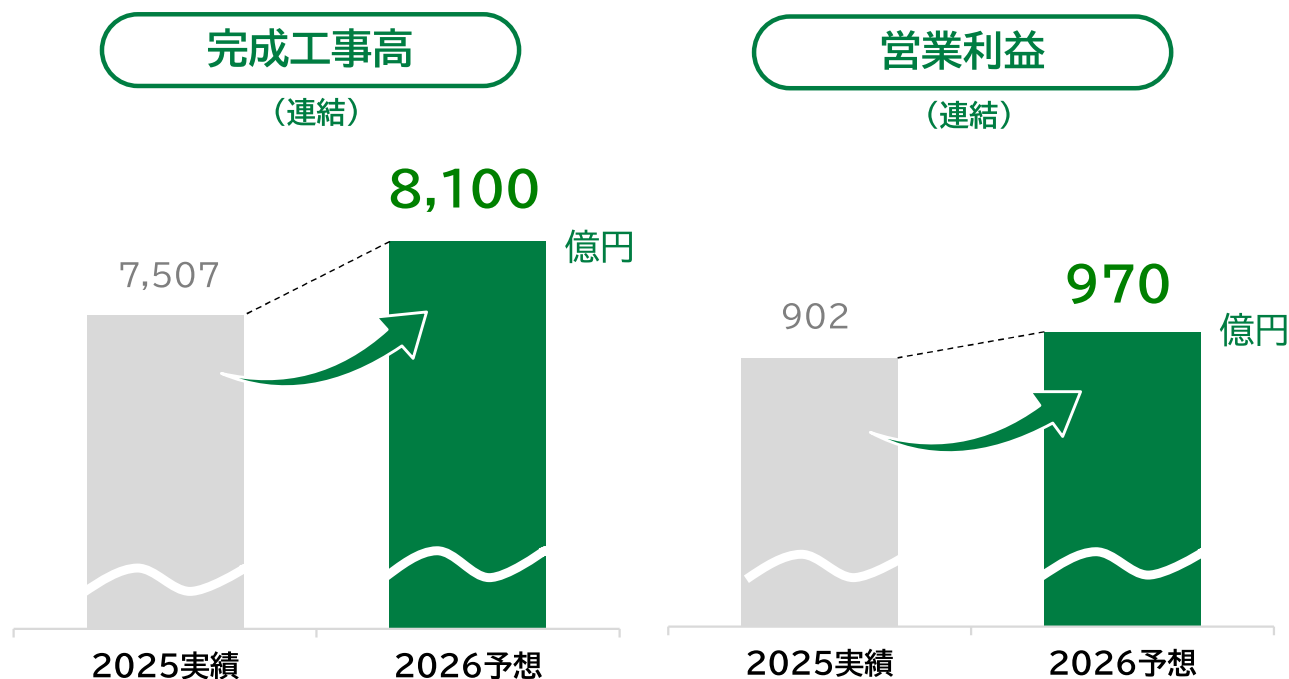
◆ 利益の増加

建設コストに対するお客様の理解が進む市場環境において、生産性の向上や原価低減努力により利益が増加

◆ 子会社の業績

株式会社北弘電社の連結化などが寄与し、子会社全体では増収・増益

(2) 通期見通し

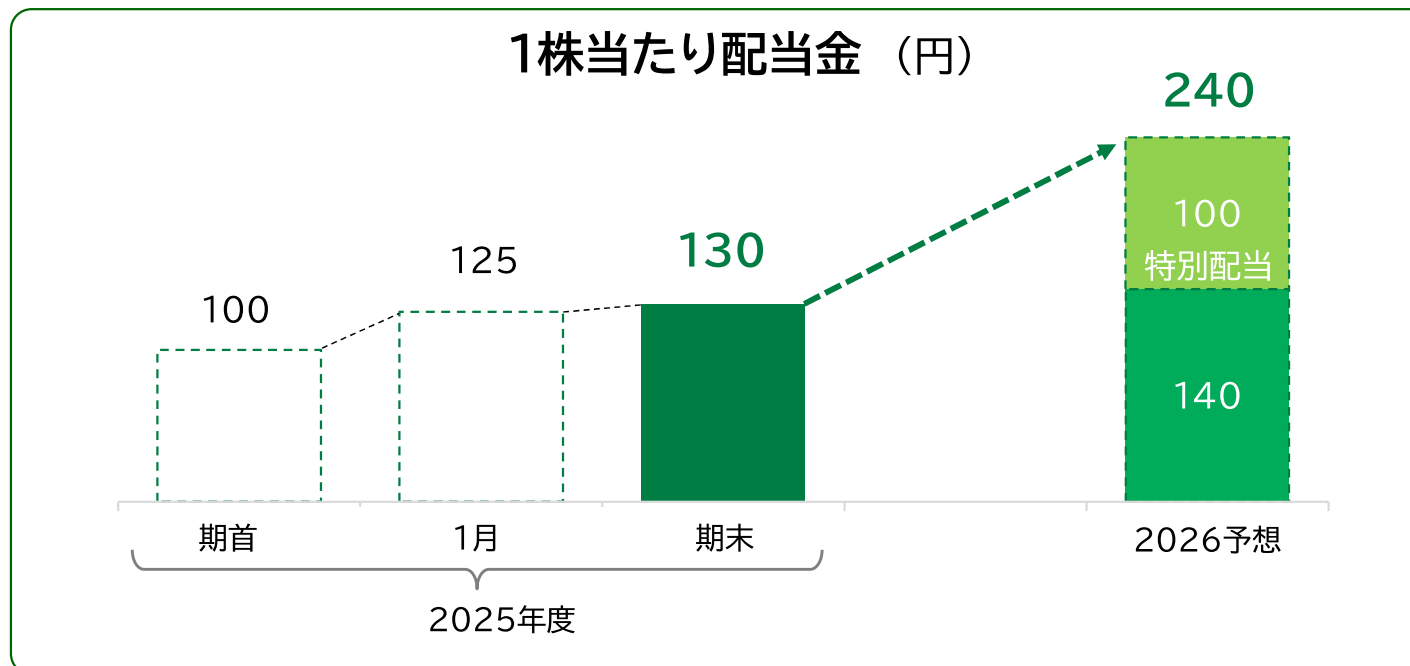


『完成工事高 8,100億円・営業利益 970億円』

- ◆ 堅調な建設市場に加え、中期経営計画の取り組みの中で充実してきた事業基盤、また豊富な手持工事と良好な事業環境を踏まえ、当社グループのさらなる成長と発展を目指す
- ◆ 建設コストの高騰による案件の計画中止・延期やイラン情勢をはじめとする投資抑制リスクもあるが、引き続きお客様のニーズにしっかりとお応えしていく

(2) 通期見通し

株主還元・配当



◆ 2025年度 1株当たり配当金 130円

期首予想100円、1月の上方修正125円を今期の業績を踏まえ、130円

◆ 2026年度 1株当たり配当金 240円

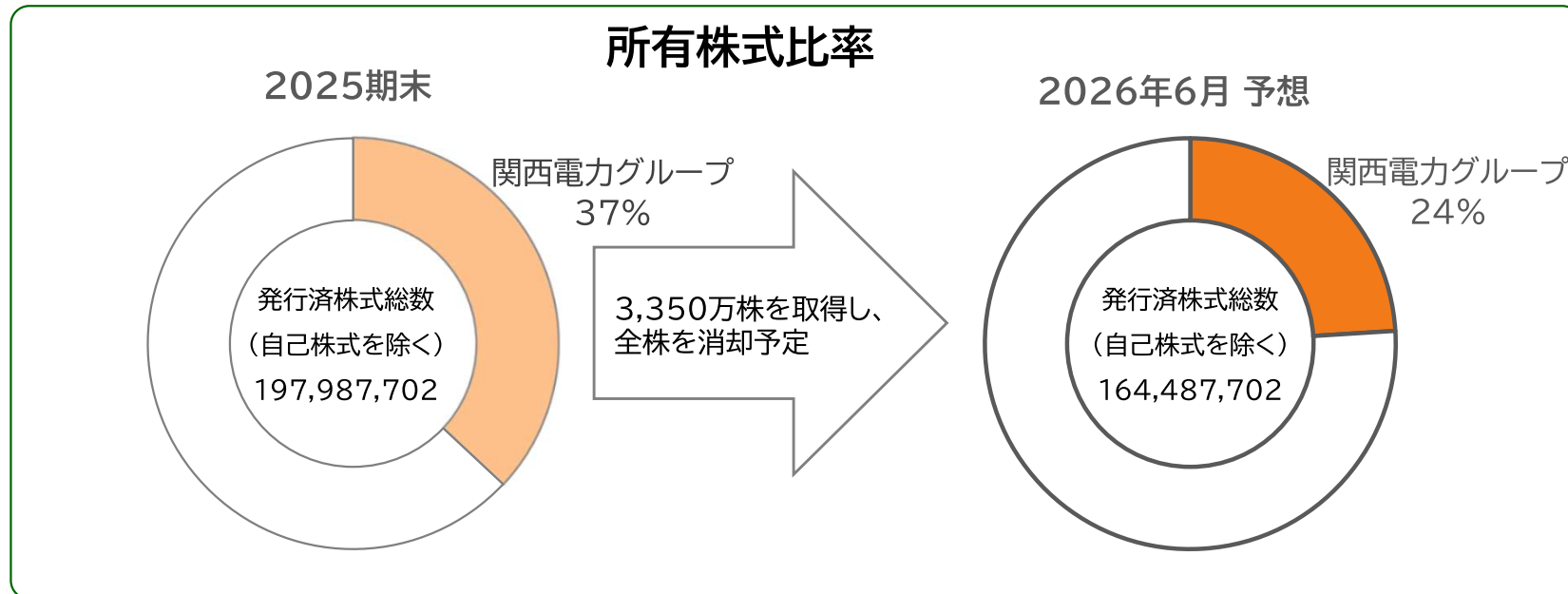
- ・ 2025年度から普通配当を10円増配し、140円
- ・ 中期経営計画における

① 資本政策の株主還元方針「中期経営計画期間中(2023~26年度)総額において配当性向40%目安」

② 成長指標の「売上高7,000億円程度・営業利益500億円程度」を2年前倒しで達成

それらを含め、中期経営計画全体として成果が着実にあがっていることを踏まえ、特別配当を100円とし、普通配当と合わせ240円を予定

(3)自己株式の公開買付け(TOB)



◆ 関西電力との関係

- ・ 今回の自己株TOBは、当社と関西電力との既存の取引関係及び協業関係を今後も維持・継続していく方針のもと、両社がより成長を遂げ、双方のステークホルダーとのさらなる価値共創に資する関係性、また両社の今後の事業運営及び資本政策等を総合的に勘案し、双方にとって最適な資本関係を検討した結果として実施するもの
- ・ 関西電力とは、今後も電力の安全・安定供給に係る使命を共にする重要なパートナーであるという認識に変わりはない

◆ 本件判断の考え方

- ・ 「株主価値の保護・向上」を最優先に位置付けた
- ・ 自己株式の取得とその消却により1株当たり利益の向上、また最適な資本構成の再構築を通じて、資本効率の向上につながる

◆ 財務への影響

財務基盤や返済余力等を総合的に勘案し、財務健全性に大きな影響を与えるものではないと判断

◆ 今後について

今後も安定した財務基盤を堅持しつつ、当社の競争力の源泉である人財を軸とした事業基盤の拡充・成長投資を引き続き実行していく

2. 決算業績の状況

(1) 予想との比較【個別】

◆ 受注工事高

旺盛な建設需要に支えられて市場が好調な中、予想を上回った

◆ 完成工事高

豊富な手持工事、堅調な受注、また工事進捗も順調に推移し、ほぼ予想通り

◆ 各利益

建設コストに対するお客様の理解が進む市場環境において、生産性の向上や原価低減努力により予想を上回った

(単位:百万円)

	予想 (2026.1修正)	実績	増減額	増減率
受注工事高	680,000	722,197	+42,197	+6.2%
完成工事高	615,000	612,505	△ 2,494	△ 0.4%
営業利益	76,000	79,120	+3,120	+4.1%
営業利益率	12.4%	12.9%	+0.5	-
経常利益	79,000	81,502	+2,502	+3.2%
当期純利益	63,000	63,584	+584	+0.9%
1株当たり当期純利益	317.99 円	320.94 円	+2.95 円	

(2) 前期比較【個別】

◆ 完成工事高

前期の豊富な受注を背景に、期首手持工事高が前期を上回る状況でスタートし、また、今期の受注も引き続き堅調に推移し、工事進捗も順調に推移したことにより、増加した

◆ 各利益

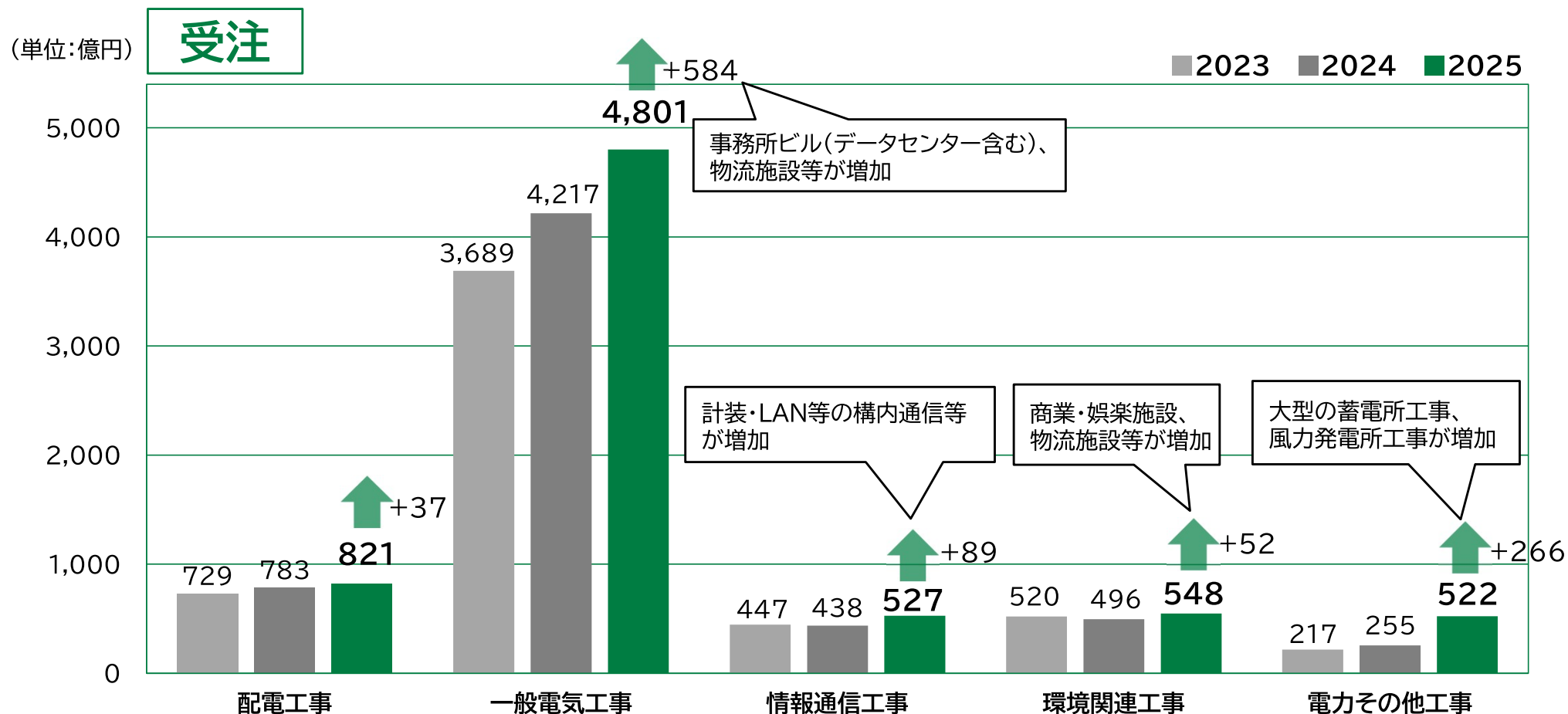
完成工事高が増加したことに加え、建設コストに対するお客様の理解が進む市場環境において、生産性の向上や原価低減努力により増加した

(単位:百万円)

	2024	2025	増減額	増減率
受注工事高	619,160	722,197	+103,036	+16.6%
完成工事高	595,918	612,505	+16,586	+2.8%
完成工事総利益	111,374	148,351	+36,977	+33.2%
完成工事総利益率	18.7%	24.2%	+5.5	-
販売費及び一般管理費	58,987	69,230	+10,243	+17.4%
営業利益	52,386	79,120	+26,734	+51.0%
営業利益率	8.8%	12.9%	+4.1	-
経常利益	57,161	81,502	+24,340	+42.6%
当期純利益	42,374	63,584	+21,210	+50.1%
1株当たり当期純利益	211.88 円	320.94 円	+109.06 円	

(3) 工事種別の状況(受注)【個別】

◆ 全ての工事種別において増加、特に一般電気工事、電力その他工事が増加

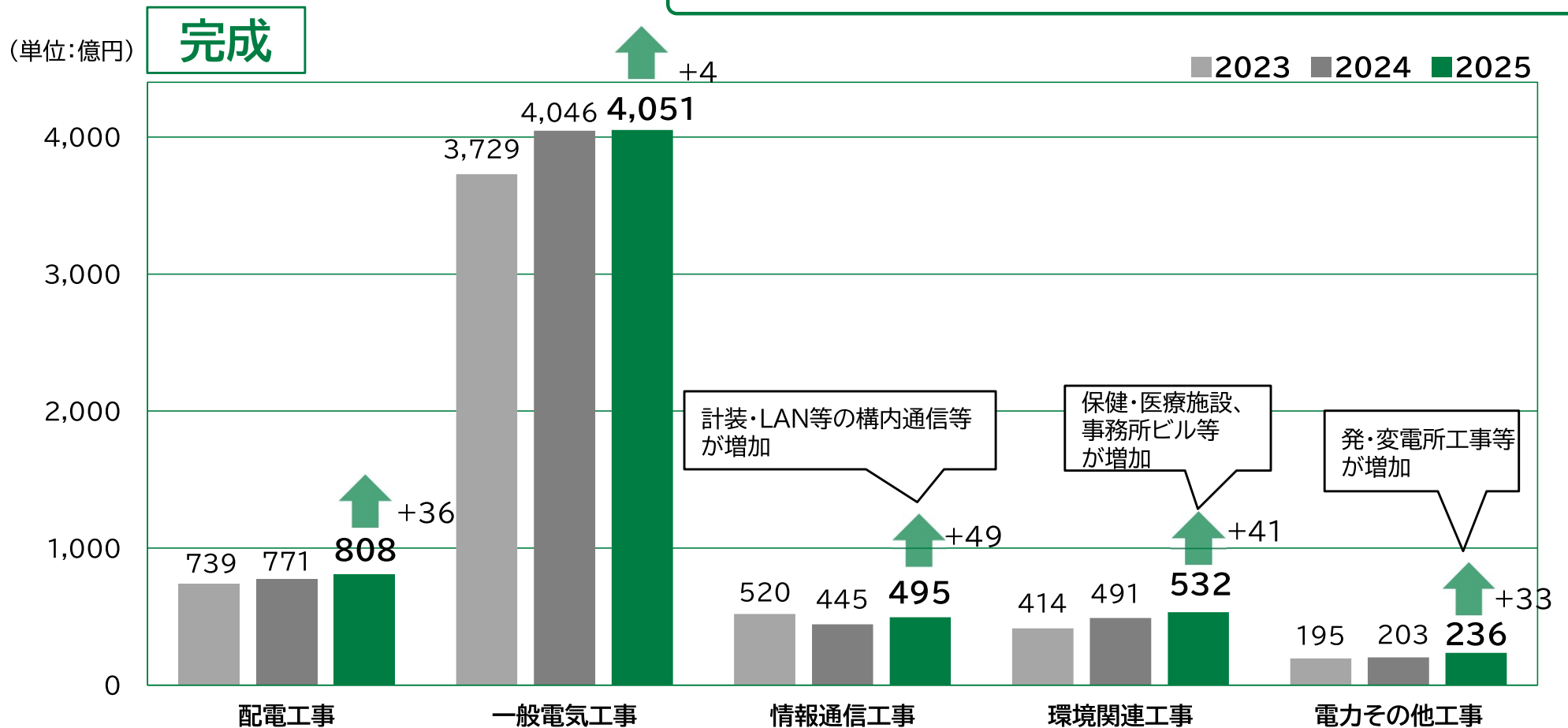


(4) 工事種別の状況(完成)【個別】

◆ 全ての工事種別において増加

◆ 工事種別の完成工事総利益率の順番

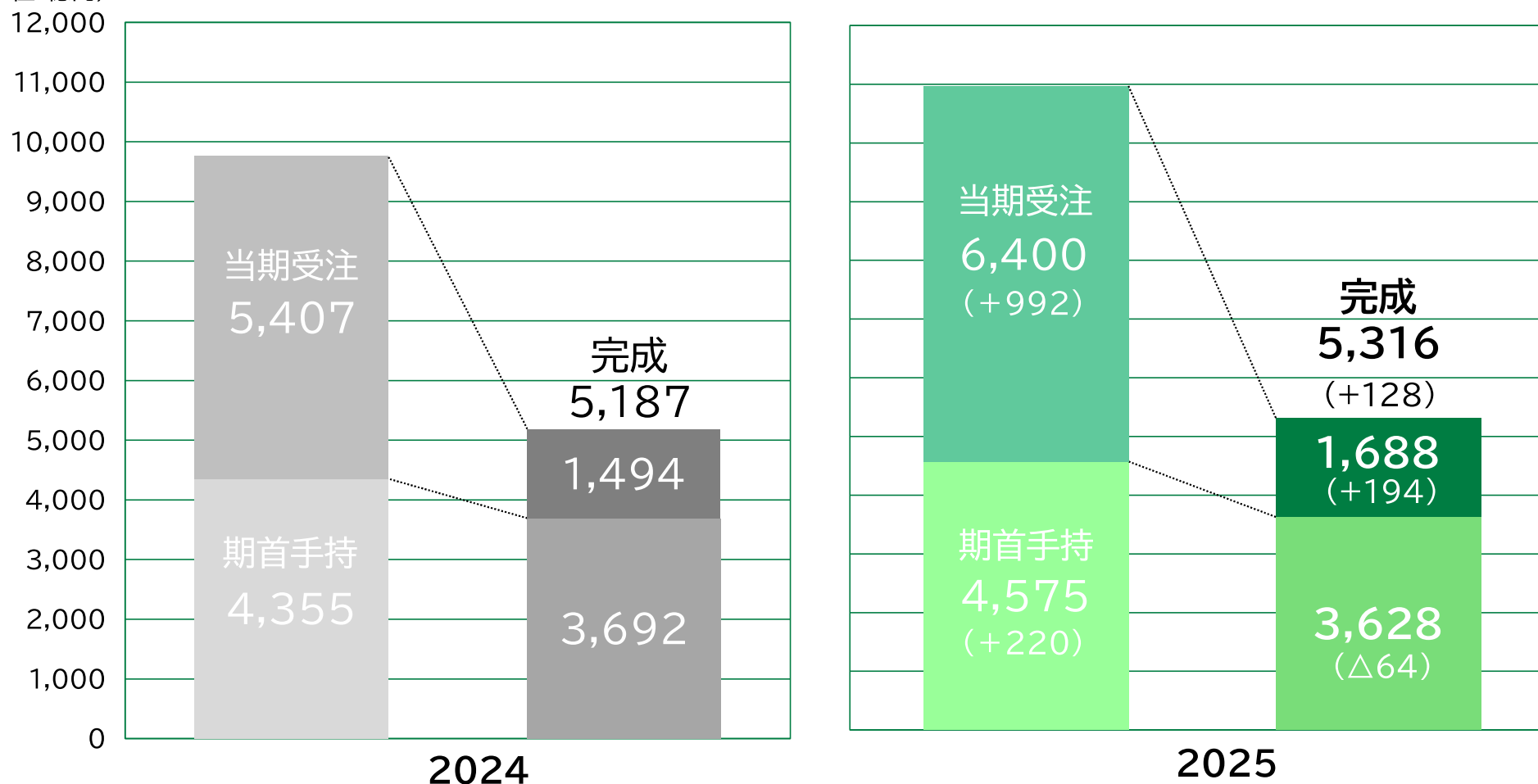
① 一般電気 > ② 環境関連 > ③ 情報通信 > ④ 電力その他 > ⑤ 配電工事



(5) 完成工事高 受注時期別(配電工事を除く)【個別】

- ◆ 期首手持からの完成工事高は、ほぼ前期並み (3,692 → 3,628億円)
- ◆ 当期受注からの完成工事高は、増加 (1,494 → 1,688億円)

(単位:億円)

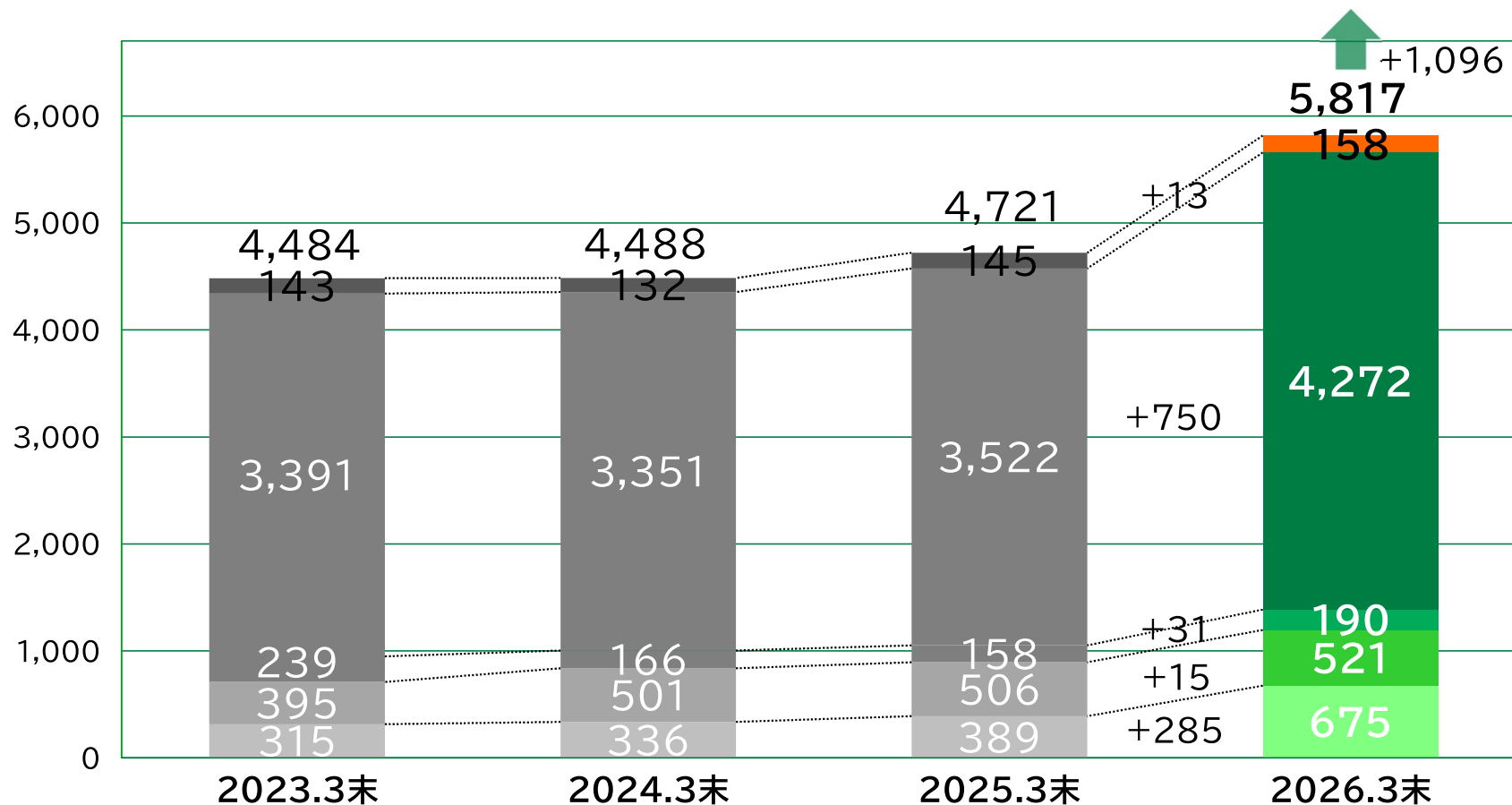


(6) 工事種別手持工事高の状況【個別】

◆ すべての工事種別において前期を上回り過去最高値を更新

(単位:億円)

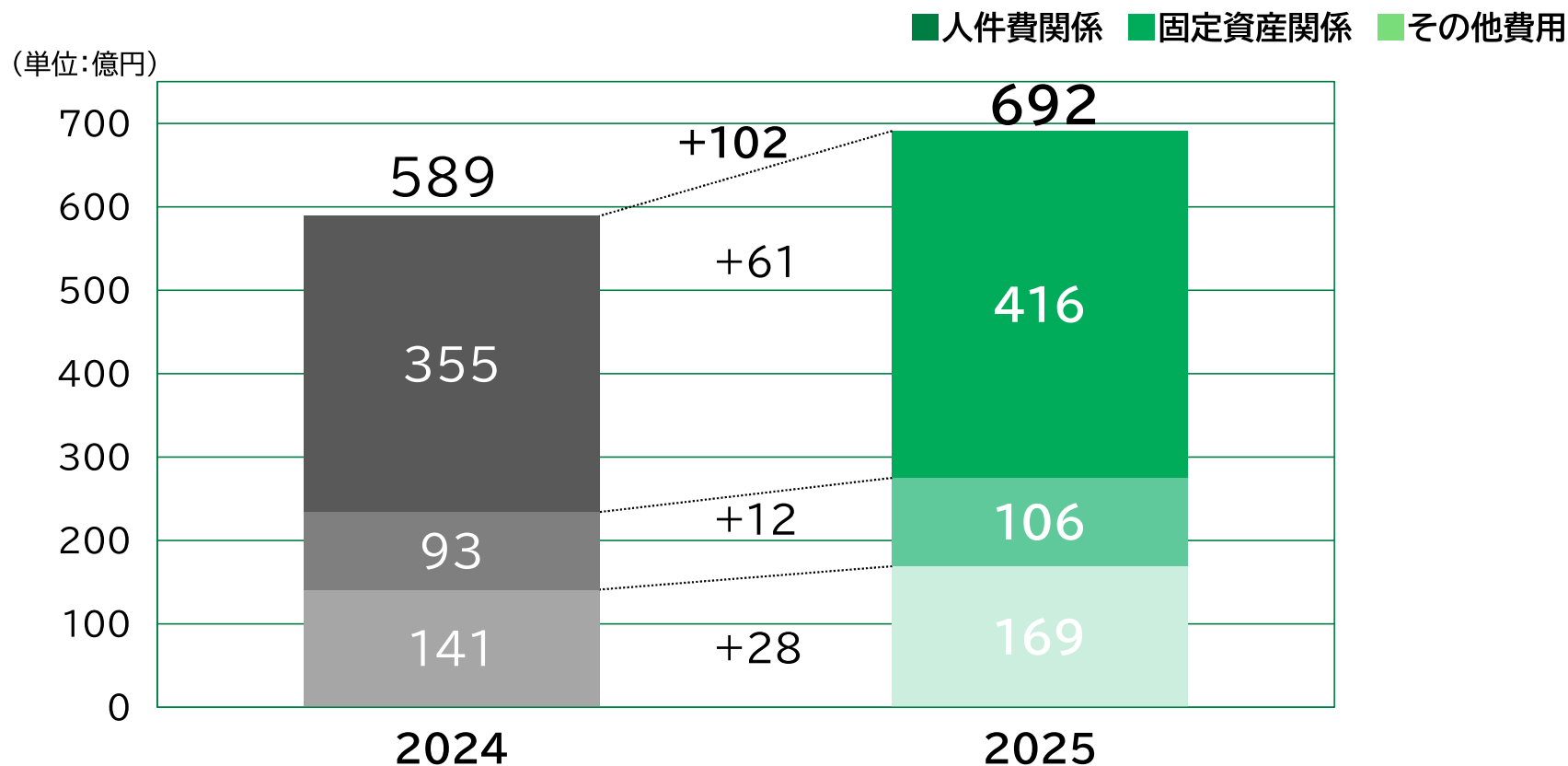
配電 一般電気 情報通信 環境関連 電力その他



(7) 販売費及び一般管理費の状況【個別】

◆ 前期より102億円増加

- ・人件費関係は、ベースアップ等により増加
- ・固定資産関係は、事業税等が増加
- ・その他費用は、主にDX関連の情報システム関連費用やきんでん豊洲ビル関連費用、ブランディング活動による広告宣伝費等が増加



(8) 予想との比較【連結】

◆ 完成工事高、各利益ともに増加

(単位:百万円)

	予想 (2026.1修正)	実績	増減額	増減率
完成工事高	750,000	750,742	+742	+0.1%
営業利益	84,000	90,256	+6,256	+7.4%
営業利益率	11.2%	12.0%	+0.8	-
経常利益	87,500	94,493	+6,993	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	65,500	69,447	+3,947	+6.0%
1株当たり当期純利益	330.60 円	350.53 円	+19.93 円	

(9) 前期比較【連結】

◆ 完成工事高、各利益ともに増加

・きんでん個別は堅調に推移し、子会社は北弘電社をグループに迎え入れたことが寄与

(単位:百万円)

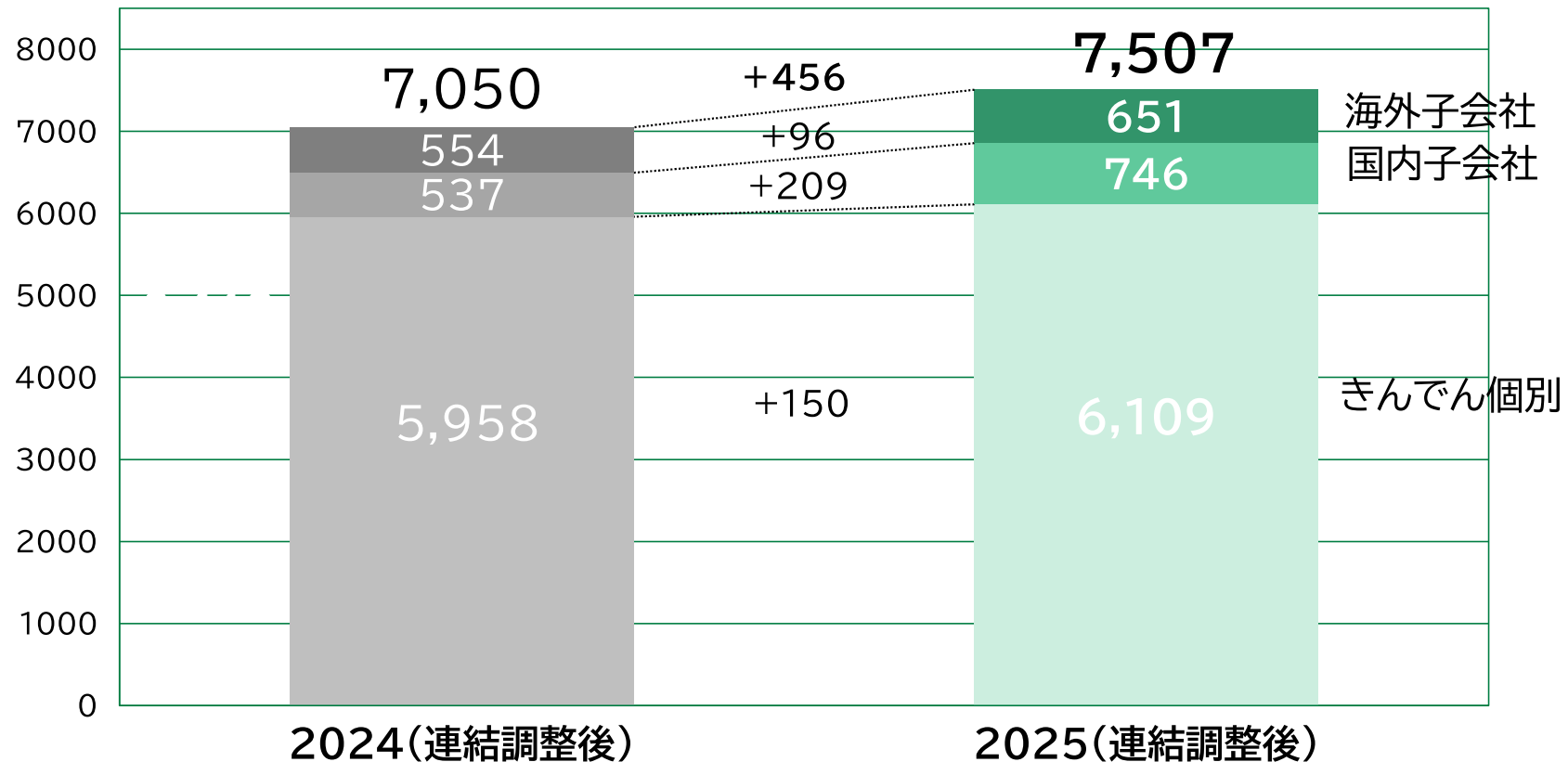
	2024	2025	増減額	増減率
完成工事高	705,058	750,742	+45,683	+6.5%
完成工事総利益	132,803	176,911	+44,108	+33.2%
完成工事総利益率	18.8%	23.6%	+4.8	-
販売費及び一般管理費	71,823	86,654	+14,831	+20.6%
営業利益	60,979	90,256	+29,277	+48.0%
営業利益率	8.6%	12.0%	+3.4	-
経常利益	64,546	94,493	+29,946	+46.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	47,250	69,447	+22,196	+47.0%
1株当たり当期純利益	236.26 円	350.53 円	+114.27 円	

(10) 完成工事高の増減【連結】

◆ 前期から456億円の増加

- ・きんでん個別は、150億円増加
- ・国内子会社は、209億円増加（北弘電社、西原衛生工業所 他）
- ・海外子会社は、96億円増加（ドバイ子会社、ハワイ子会社 他）

(単位:億円)



(11) 海外(地域別)受注・完成工事高の状況【きんでん+海外子会社】

◆ 受注工事高

・アジア、ハワイ・グアムともにほぼ前期並み

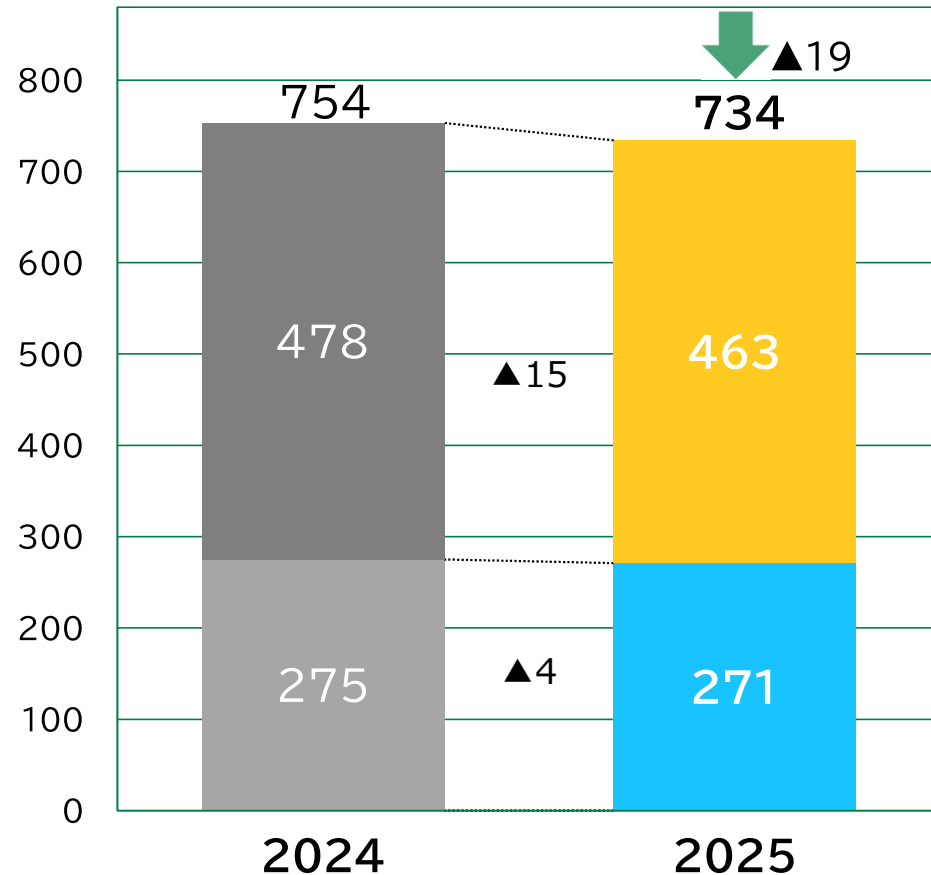
◆ 完成工事高

・アジア、ハワイ・グアムともに増加(主にドバイ子会社、ハワイ子会社が増加)

(単位:億円)

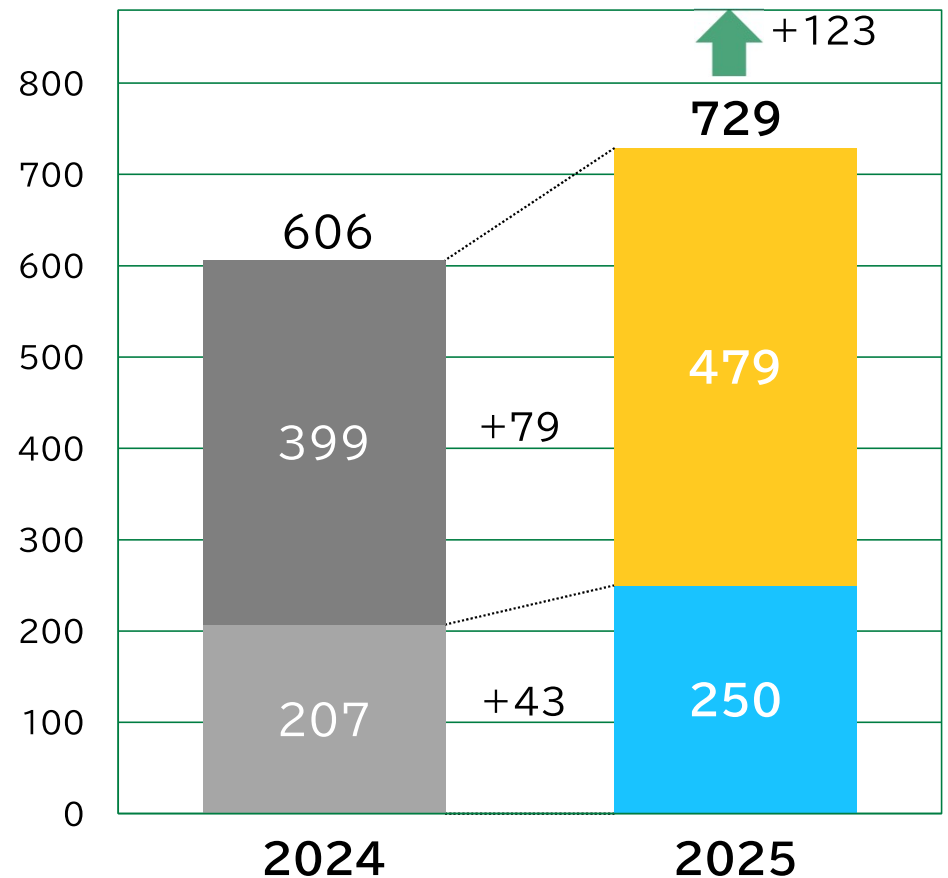
受注

■アジア ■ハワイ・グアム



完成

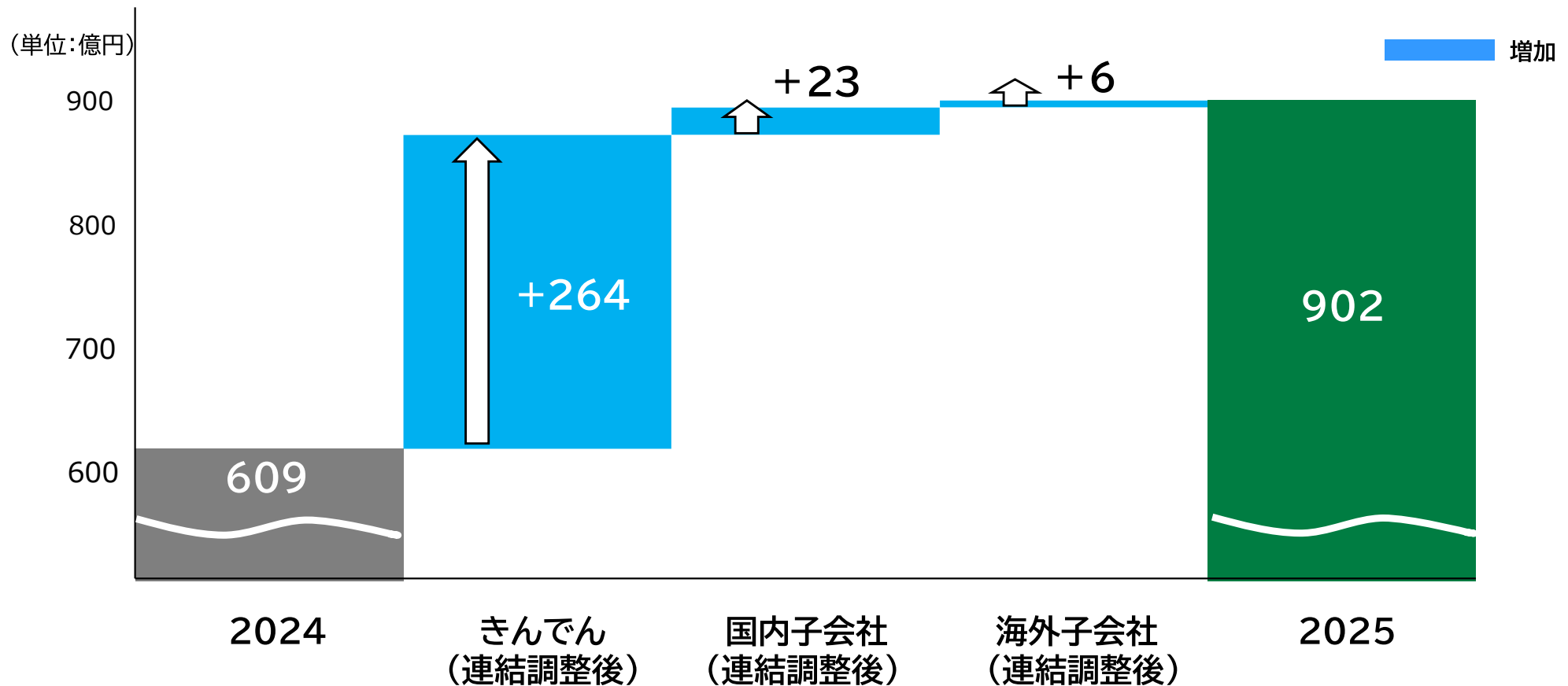
■アジア ■ハワイ・グアム



(12) 営業利益の増減内訳【連結】

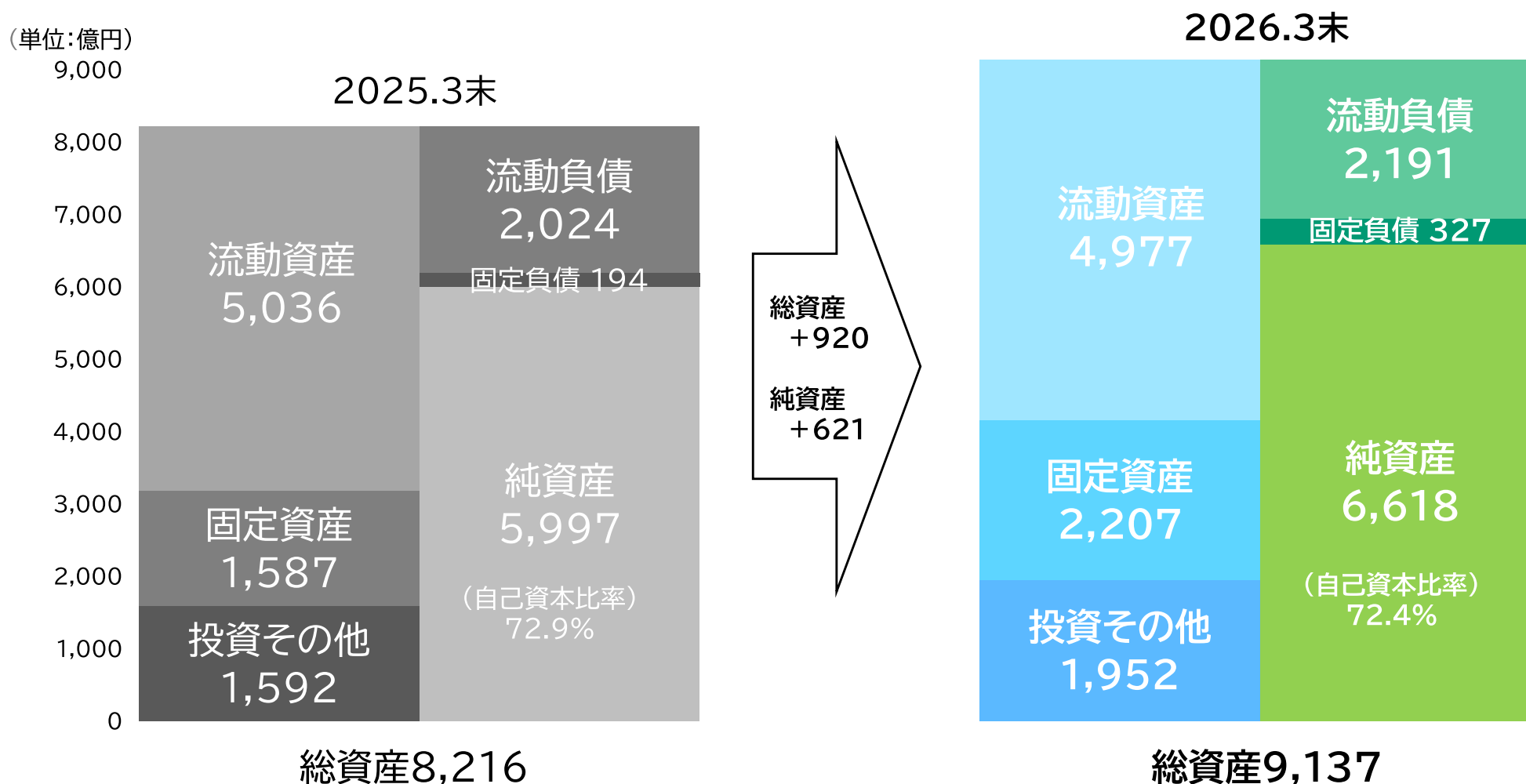
◆ 対前期比292億円の増加

- ・きんでん個別は、完成工事高の増加や工事利益率の上昇により264億円の増加
- ・国内子会社は、北弘電社をグループに迎え入れたことが寄与、西原衛生工業所も堅調
- ・海外子会社は、ドバイ子会社、ハワイ子会社が堅調



(13) 貸借対照表の状況【連結】

- ◆ 前期末と比較し、総資産は920億円増加、純資産は621億円増加し、自己資本比率は72.4%となった
- ◆ 固定資産は、主にきんでん豊洲ビル、投資その他は、主に投資有価証券が増加



(14) キャッシュ・フローの状況【連結】

- ◆ 営業活動は、主に税引前利益の増加により、876億円の資金増加
- ◆ 投資活動は、固定資産の取得、子会社株式の取得等により、598億円の資金減少
- ◆ 財務活動は、自己株式の取得、配当金の支払い等により、301億円の資金減少
- ◆ その結果、現金および現金同等物は、23億円減少し、1,823億円となった

(単位:億円)

	2024	2025		前期比較
	実績	実績	主な内容	
営業活動によるキャッシュ・フロー	245	876	税引前利益の計上 +976 売上債権の減少 +19 仕入債務の減少 Δ92 法人税等の支払 Δ286	+631
投資活動によるキャッシュ・フロー	36	Δ 598	固定資産の取得 Δ535 子会社株式の取得 Δ190	Δ634
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 249	Δ 301	自己株式の取得 Δ82 配当金の支払 Δ218	Δ51
現金及び現金同等物の増減額	41	Δ 23		Δ64
現金及び現金同等物の期末残高	1,846	1,823		Δ23

3. 2026業績予想

(1) 2026予想【個別】

- ◆ 受注工事高は、堅調な建設市場、豊富な営業情報量から高水準を維持すると予想
- ◆ 完成工事高、各利益については、豊富な手持工事と良好な受注環境、また堅調な工事進捗が見込まれることから、増収増益を予想

(単位:百万円)

	2025	2026予想	増減額	増減率
受注工事高	722,197	680,000	△ 42,197	△ 5.8%
完成工事高	612,505	670,000	+ 57,494	+ 9.4%
完成工事総利益	148,351	162,500	+ 14,148	+ 9.5%
完成工事総利益率	24.2%	24.3%	+ 0.1	-
販売費及び一般管理費	69,230	73,500	+ 4,269	+ 6.2%
営業利益	79,120	89,000	+ 9,879	+ 12.5%
営業利益率	12.9%	13.3%	+ 0.4	-
経常利益	81,502	90,000	+ 8,497	+ 10.4%
当期純利益	63,584	67,000	+ 3,415	+ 5.4%
1株当たり当期純利益	320.94 円	389.04 円	+ 68.10 円	

(2) 2026予想【連結】

◆ 完成工事高、各利益ともに増加と予想

- ・きんでん個別は、増収増益を予想
- ・一部の子会社は、前期の反動減の見込みであるが、連結全体では増収増益を予想

(単位:百万円)

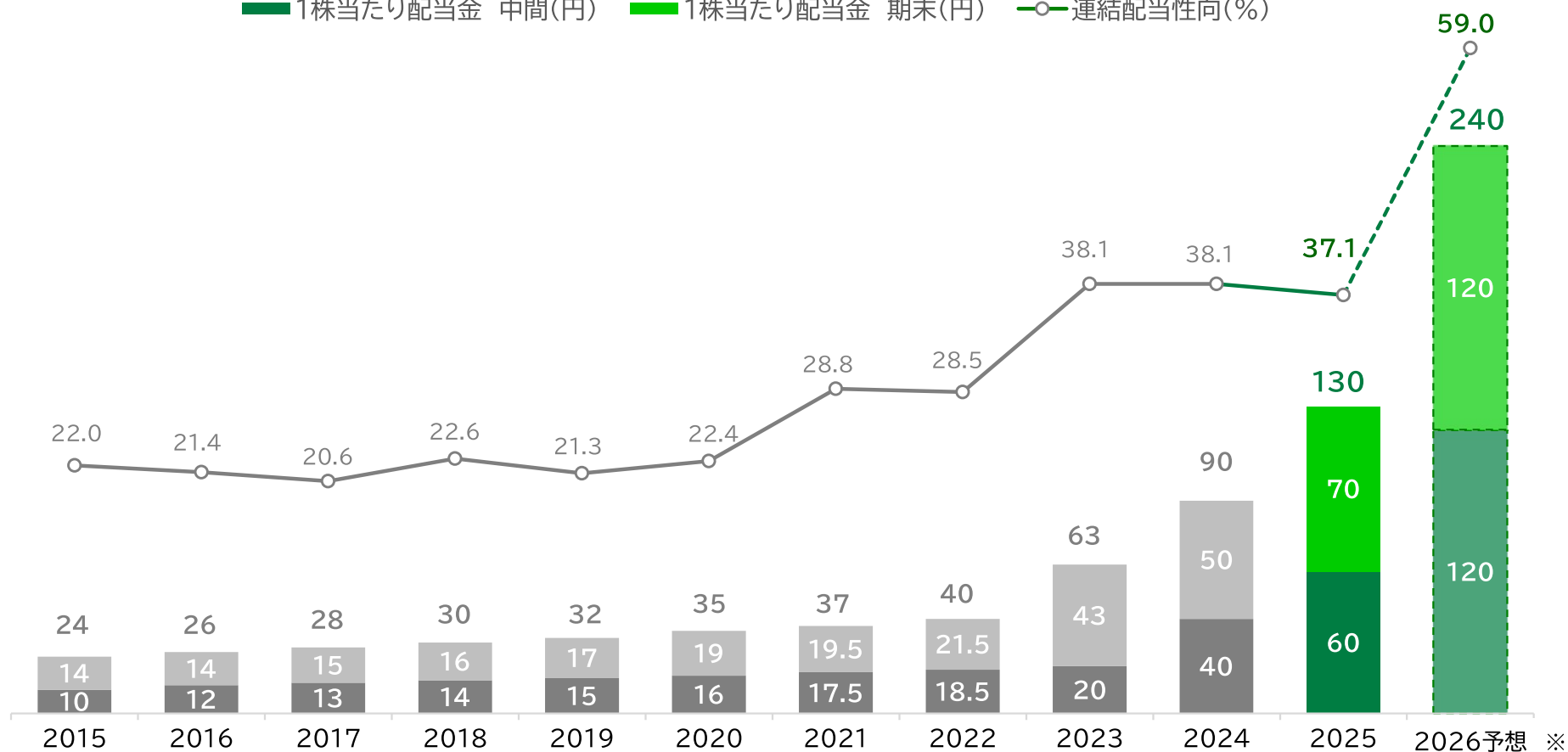
	2025	2026予想	増減額	増減率
完成工事高	750,742	810,000	+59,257	+7.9%
完成工事総利益	176,911	188,000	+11,088	+6.3%
完成工事総利益率	23.6%	23.2%	△0.4	-
販売費及び一般管理費	86,654	91,000	+4,345	+5.0%
営業利益	90,256	97,000	+6,743	+7.5%
営業利益率	12.0%	12.0%	△0.0	-
経常利益	94,493	96,000	+1,506	+1.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	69,447	70,000	+552	+0.8%
1株当たり当期純利益	350.53 円	406.46 円	+55.93 円	

4. 株主還元

(1) 配当金の状況

配当の推移

■ 1株当たり配当金 中間(円) ■ 1株当たり配当金 期末(円) ○ 連結配当性向(%)



※ 2026年度の配当金には、中期経営計画・成長指標達成に伴う特別配当金が100円含まれております

(2) 自己株式の取得について

1. 終了した自己株式取得

(1) 期間	2025年2月3日～2025年12月23日
(2) 取得した自己株式の累計	2,310,300株
(3) 取得価額の総額	9,999,667,203円

2. 自己株式の公開買付け

(1) 期間	2026年4月28日～2026年6月1日
(2) 取得する自己株式の総数	33,500,000株 発行済株式総数(自己株式を除く)の16.92%
(3) 買付価格	2026年4月27日の前営業日(4月24日)までの過去3ヶ月間の終値の単純平均から11%のディスカウントを行った価格(6,677円)
(4) 取得価額の総額	223,679,500,000円 (6,677円×33,500,000株)

Kinden

本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

◆ IRに関するお問い合わせ

株式会社きんでん IR・広報部 IRチーム

〒531-8550 大阪市北区本庄東2丁目3番41号

電話:06-6375-6026